

北齋九十歳。亡くなる前の三、四ヶ月、命の花を咲かせるように十二点もの作品を残した。「漁樵問答図」はその中の最新のものという。病の中、震える手で休み休み描いたのか。例えば、樵の服の輪郭線は、途切れたり揺れたり、と乱れが見える。しかし、右幅の煙草をくゆらせる樵、左幅の微笑む漁師、それぞれ満ち足りた心の様子が伝わる表情の描き込みは見事である。命ある限り、画業を極めようとした北齋。最新期の力をふり絞り、心を震わせる傑作を遺した。

最期まで筆を握り続けた、北齋の絶筆。

北齋、日本に帰る

『漁樵問答図』 葛飾北齋筆

綴プロジェクト作品
(高精細複製品)

Vol. 07

綴TSUZURI
文化財未来継承プロジェクト

原本は一九〇〇年、上野公園での展示会に出品された後、フリーア氏が購入。北齋の絶筆ともいわれ、フリーア美術館が所蔵するなかでも貴重な作品です。北齋晩年の繊細な筆遣いを再現した高精細複製品で、絵に一生をかけた老絵師の技を、多くの方に間近でご覧いただけます。

日本の美を、人へ、

未来へ、伝えていく。



詳細は、公式サイト
でご覧いただけます。
global.canon/ja/tsuzuri

公開情報
二〇二〇年三月十日(火)〜四月五日(日)、同綴プロジェクト作品をすみだ北齋美術館にて公開します。詳細は美術館公式サイトにて。

「綴プロジェクト」は、貴重な日本の文化財を高精細複製品として制作し、オリジナルの保存と複製品の公開を目的とする社会貢献活動です。今回、フリーア美術館所蔵で門外不出の葛飾北齋の肉筆画13点の複製品を制作、里帰りした作品は墨田区のすみだ北齋美術館に収蔵されます。日本では観られない貴重な作品を身近に鑑賞する機会を提供していきます。



綴プロジェクト作品 漁樵問答図 葛飾北齋筆

原本所蔵：スミソニアン協会フリーア美術館 寄贈先：墨田区(収蔵：すみだ北齋美術館)
Facsimiles of works in the collection of the Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C. : Gift of Charles Lang Freer,
F1904.181, F1904.182.

Canon